



NPO法人ジャパンデンタルミッション

海外活動報告書

場所 フィリピン共和国 カオハガン島

期間 2016/11/19-11/23

参加メンバー

上段左から 瀬野 耕司(D) 中島 勝彦(V) 栗山 雅行(V)

中段左から 落合 あかね(DH) 金子 靖子(DH) 倉橋 朋子(DH) 長谷川 玲子(V) 山崎 亜希子(DH) 野村 怜加(V)
垣内 万智子(DH)

下段左から 大西 富子(DH) 中島ミラ(V) 富田 真仁(D) 順子さん 崎山さん 沢田 宗久(D)
歯科医師(D)/歯科衛生士(DH) ボランティア(V)



活動内容

11月19日(土曜日)

関西組(9名)13時20分に集合。予定より早くセブ空港に到着。名古屋組(1名)関東組(2名)フィリピン組(2名)迎えに来てくれたエマ・トッペル達と合流し、バス・船を乗り継ぎカオハガン島に到着。9時半に夕食をとり自己紹介、ミーティングを行った。

みんな明日からの診療に備え早めの就寝。

Dr 3名 DH 6名 V 5名 計14名で
ミッションに挑む。

2月20日(日曜日)

朝のミーティングを行い、バランガイホールへ。すでに、たくさんの人たちが列をなして待っていてくれた。直ちに診療準備を行い診療開始。沢田代表は、崎山さんとミーティングを終え、合流。

ラップでお祭りがあり午後の診療は、患者さんが少なく、ゆっくりしたものだった。メンバーは歯ブラシとフッ素を手に、教会近くで遊んでいた子供達のもとへ・・・

初めは嫌がり、逃げていた子供達だったが、メンバーに磨かせてくれるようになった。しばらく経つとバランガイホールに来てくれた。

鏡を持ってメンバーのチェックアップをする子まで出現！！

楽しいコミュニケーションの場となった。



11月21日(月曜日)

たくさんの患者さんでバランガイホールは大賑わいとなった。

年配者は、抜歯希望が多くクリーニングを勧めても断られることが多く胸が痛んだが、若い世代はクリーニングを希望される。ボランティアの栗山氏と中島氏は、島民たちと島で貴重な水を作る装置の制作実験を行った。結果は、残念ながら水を作ることは出来なかった。いくら湿度が高いといっても、やはり霧が出て水蒸気が飽和状態にならないと厳しいようだが、ボホール島から来ていた青年ジュンは自分の島は霧が多いので装置を作って試してみると嬉しいことを言ってくれた。夕食後にはマンゴー大会。真剣に品定めし、余った1個をかけ、じゃんけん大会が始まり女子メンバーは大盛り上がりとなった。



11月22日(火曜日)

最終日は、朝からカオハガンスクールとバランガイホールに分かれての活動となった。スクールでチェックアップを済ませた子供たちがやって来たため、最後まででんてこ舞いに、少し落ち着いたところで在庫整理・片付けを始め診療を終えることができた。フリータイムでは、各自残り少ないカオハガンでの時間を楽しんだ。シュノーケリング組は、カオハガンの海の美しさに感動したようです。午後3時からポンドクにて恒例の運動会。リレー・風船挟みリレー・3人4脚・玉入れ・綱引き、中でも3人4脚では大きな笑いを誘いました。各競技後には、歯ブラシのプレゼント。

笑顔で歯ブラシを手渡す沢田代表の姿が忘れられない。集まった人たちは競技を応援し楽しみ笑顔で溢れていた。夕食後には、沢田代表がたこ焼きを振舞ってくれた。カオハガンハウスのスタッフと共にたこ焼きと最後の夜を楽しみ、一人ずつ感想を述べた。



11月23日(水曜日)

朝4時半に母屋に集合し、順子さんに『いってらっしゃい』と見送ってもらい島を出発。

空港のカフェにてみんなで朝食をとり、各自帰路に就いた。

今回の活動では、中島夫妻が通訳をしてくれた為、患者さんは安心して受診でき診療もスムーズに行うことができた。また、メンバーが全力で取り組み多くの治療を行うことができた。



データ

島別	11月20日	11月21日	11月22日	
カオハガン	32人	13人	102人	147人
パンダノン	34人	16人	7人	57人
パガンアン	4人	21人	6人	31人
カブルアン		5人		5人
クアミン	7人	5人	4人	16人
ヒロトガン	1人			1人
セブ		1人		1人
サマール	2人			2人
サンミゲル	2人		2人	2人
マリバコ			2人	2人
	82人	61人	123人	266人

	11月20日	11月21日	11月22日	合計
抜歯	107本	121本		310本
充填	49本	31本		119本
シーラント			73本	73本
スケーリング	11人	18人	5人	34人
フッ素塗布			46人	46人
チェックアップ			91人	91人
義歯修理	6人	5人	1人	12人
受診者数	82人	61人	123人	266人

リーダー報告

富田真仁

2016年11月19日～23日

フィリピン共和国カオハガン島

歯科医師3名、歯科衛生士6名、ボランティア5名の計14名で活動を行いました。関空出発以外のメンバーが多数いましたが、滞りなくマクタン空港で合流できました。

カオハガン島には崎山夫妻が滞在しており、いろいろお話しする機会がありました。

20日朝より準備開始しましたが、機材のチェックリスト等が充実していたため、10時過ぎには診療開始できました。

今回、歯科技工士が参加できなかったため、義歯製作は行いませんでした。2月も参加未定なため義歯製作の予約は行いませんでしたが、義歯の修理依頼が数多く寄せられました。どの義歯も丁寧に使用されており、当地におけるJDMの長期活動をうかがわせるものでした。

歯科衛生士は6人と人数、キャリアともに充実したメンバーであったため多くのクリーニングを行うことができました。一方マクタン島でのフィエスタと重なったため21日まで小学校が休校していました。活動終了日、カオハガン小学校での検診、媒体での口腔保健指導、ドネイションを行いました。歯ブラシ指導や子供の治療を十分に行うことができなかったのが残念です。

また、文化交流として運動会とは別に、空中の水分を集めて真水を確保する装置を試作しました。残念ながらカオハガンの湿度では成功しませんでした。やはり朝霧の出る気候でないと不可能のようです。

全体としては大きなトラブル等はなく、充実した活動を行うことができました。事前準備、現地の活動を十分に想定した機材など、参加メンバーと日本でのバックアップメンバーのおかげと思います。

メンバー、現地スタッフに感謝して報告とさせていただきます